

こまえみらい テラス (旧市民センター)

点字ブロックが銀色 弱視の方「わからなかつた」

点字ブロックって 誰のためにあるの？



第4回市議会で「視覚障がい者の安全」について質問しました

障害者権利条約には「障害のない市民との平等の実現」として、支援をおこなう社会的責任が国や自治体にあることを宣言しています。「私たち抜きに私たちのことを決めないで」が世界の合言葉です。さまざまな施策や意思決定などの場に障害当事者の参加を位置づけることで、すべての人がくらしやすい社会づくりにつながります。

デザイン重視？

点字ブロックといえどだれもが「銀色」と思っていると思います。ところが驚くことに、リニアアルした「こまえみらいテラス」入り口の点字ブロックは銀色です。

私はなぜ黄色ではなく銀色にしたのか、それは「デザインを重視したからかと質問しました。

総務部長は「床面であるベージュ色のカーペットに対し、誘導用ブロックは金属製のシルバー色とする」とで、周囲の床面と比べて明度、色相、彩度に加え、素材や反射率にも違いがあつて識別でき



るものと考えている。「デザインとしても、耐久性も考慮し誘導ブロックとしての機能の両立を田指した」と答弁しました。

視覚障害者団体「銀色」求めている

国土交通省のガイドラインには「視覚障害者誘導用ブロックの色は、黄色その他の周囲の路面との輝度比が大きい」と等により当該ブロック部分を容易に識別できる色とする」となっています。視覚障害者団体も「黄色で統一を」と強く要望しています。

私は視覚障がい2級の弱視の方と歩いてみました。外の黄色のブロックは認識されました。が、中に入つて「銀色のブロックが」にありますよ」とお知らせしましたが、「アツわからなかつた」と認識されませんでした。

私は、点字ブロック設置に当事者の意見を聞くべきだった、点字ブロックの本来の目的・役割、誰のためにあるのかが欠けていたのではないかと指摘しました。